

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
L305	都市コミュニティ論	3年	講義	2	和田佐英子
授業概要 現代社会におけるコミュニティの重要性について考える。特に、コミュニティの形成・発展・衰退・再生の課題、担い手問題等について考えていく。コミュニティの基礎理論・日本のコミュニティ問題・コミュニティ政策について、理解した上で、コミュニティの果たすべき役割・コミュニティにおける住民団体の活動・問題解決のための対応策について勉強していく。					
到達目標(学習の成果) コミュニティの現状を理解し、課題を見出す力を得ることを目標とする。コミュニティの基礎理論・コミュニティ問題・コミュニティ政策等、それぞれの観点から、コミュニティの現状を理解し、コミュニティの課題とその対応策について考えることができるようになる。(DP3)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	コミュニティとは何か	コミュニティとは何か、地域社会との違いはどこにあるのかを考えていく。			
2	コミュニティの担い手	コミュニティ形成の要素とその条件について学ぶ。特に、担い手の問題に着目する。			
3	絆の再生としてのコミュニティ	地域再生の基盤としてのコミュニティについて考える。人とのつながりの重要性、コミュニケーションネットワークの形成について考える。			
4	コミュニティの基礎理論	テンニースからマッキーバーへコミュニティの定義とコミュニティ形成の意義について考える。			
5	日本におけるコミュニティ問題の変遷	国民生活審議会報告からの出発、コミュニティと行政の関係、国のコミュニティ行政の特徴について考える			
6	県のコミュニティ政策	愛知県・宮崎県・栃木県を例にして			
7	市のコミュニティ政策	宮崎市を例にして、地域を支える市民の受益と負担問題を考える			
8	コミュニティの組織論	地域住民自治組織の成立過程と機能を自治会活動から見ていく。			
9	コミュニティと地域住民自治組織との関係	町内会・自治会とNPOとの関係、市民活動団体との関係・連携のあり方について考える。			
10	自治会とコミュニティ	町内会・自治会の活動とコミュニティの活動の実態と計画作りについて考える。			
11	高齢者を支える地域福祉活動とコミュニティ	地域福祉とまちづくりについて考える。			
12	防災のまちづくりとコミュニティ	防災のまちづくりとコミュニティ活動について考える。			
13	地域自治の形成とコミュニティの発展	地域自治の現状と課題を考え、自治の形成とコミュニティの発展について多面的に考える。			
14	NPOと行政との協働と地域コミュニティ	地域コミュニティを舞台に活躍する様々な主体の連携・協働について考える。			
15	自分たちのコミュニティ	様々なコミュニティ課題について検討していく過程で、自分たちのコミュニティ参加のあり方について考えていく。			

準備学修(授業外の自己学修)

毎回、テキスト・参考資料・文献等で必ず復習しておくこと。

成績評価の方法・基準(%表記)

平常点 30%(レポート等) 期末テスト70%

観点	S	A	B	C
都市コミュニティの現状に対する理解	完全に理解できている。	ほぼ完全に理解できている。	十分に理解できている。	一定程度理解できている。
都市コミュニティの課題を見つけ、対応策について考える。	完全に理解し、課題を見つけ、対応策を考えることができる。	ほぼ完全に理解し、課題を見つけ、対応策を考えることができる。	十分に理解し、課題を見つけ、対応策を考えることができる。	一定程度の理解をし、課題を見つけ、対応策を考えることができる。

教科書

毎回資料を配布する。

参考書等

広井良典『コミュニティを問い直す一つながり・都市・日本社会の未来』ちくま新書 2011年4月

履修上の注意・学修支援

疑問に思ったことはそのままにせず、必ず質問にくること。